

みなみいせ 2011



17号

2011.1.1

議会だより



ワーイ！いもだ！（保育園児）

主な内容

平成22年第3回

9月定例会……………2～3

町長・議長対談………4～5

一般質問……………6～13

視察報告……………14～15

委員会報告ほか ……16

発行／三重県南伊勢町議会

〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057

編集／議会広報特別委員会



洋上にのぼる朝日

平成22年 第3回定例会

平成22年、第3回定例会が9月10日～15日までの6日間の日程で開催されました。上程され、可決された主な議案に対する審議の内容を紹介いたします。

質疑

過疎法改正される

過疎地域自立促進特別措置法の一部が改正され、計画の延長により可能となる。

新しい事業は出来るのか

問 議員 過疎地域自立促進計画の新しい事業は出来るかを聞きたい。

答 行政経営課長 市町村計画及び都道府県計画の変更が必要となる。

道の駅の計画は！

問 議員 道の駅が計画されているが、これについて聞きたい。

答 産業振興課長 具体的には決まっていない。

南島庁舎の耐震

問 議員 防災基盤整備事業の中で、南島庁舎の耐震はどうか聞きたい。

答 総務課長 機会をとらえた中で、早急に考えていきたい。

火葬場の整備

問 議員 火葬場の再整備について聞きたい。

答 環境課長 南島、南勢地区に各一ヶ所を計画している。

鳥獣駆除数の確認

問 議員 鳥獣駆除数の確実な数の確認と処理方法について聞きたい。

答 産業振興課長 猟友会の方々と今後、相談し検討していきたい。

高規格浄化槽整備推進計画

問 議員 迫間浦の高規格浄化槽整備推進の計画を聞きたい。

答 上下水道課長 本年度から27年度まで、年間20基の計画を盛っている。

水道ビジョンのゆくえ

問 議員 簡易水道が、上水道に変わるまでに安定供給ができる体制が作れるのか聞きたい。

答 上下水道課長 水道ビジョンを作成中である。必要に応じて見直しをしていく考えである。

防災タワーの計画

問 議員 防災タワーの計画を聞きたい。

答 総務課長 23年度から事業費を計上している。どの地域を整備するのか検討中である。

下水道工事の計画

問 議員 相賀浦地区の下水道工事の計画を聞きたい。

答 上下水道課長 本年度は、処理場の建設と、相生橋手前の管布設工事を予定している。



自然豊かな南伊勢町



相賀浦下水道処理場の建設予定地

一般会計補正

五ヶ所浦火葬場の待合所

問 議員 火葬場施設工事の内容を聞きたい。

答 環境課長 五ヶ所浦の火葬場待合所の建設工事である。

竹林整備の目的・効果は！

問 議員 竹林整備に665万円かけて行なう目的と効果を聞きたい。

答 産業振興課長 竹林がやぶ化すると、有害獣の餌場になったり隠れ場になる為、これを防ぐ目的である。効果はある。



整備された竹林

職員の意気込み

問 議員 職員によるワーキンググループの意気込みを聞きたい。

答 行政経営課長 4回開催させていたいただき、いろんな形の中で講師の指導を受けながら、一生懸命取り組んでいる。

広域入所委託料とは

問 議員 広域入所委託料の説明を聞きたい。

答 福祉課長 「お母さんが出産の為に里帰りする。」この場合、南伊勢町在住の子どもを町外で預っていたときの経費である。

10a当たり 2万円の補助

問 議員 20haで400万円の農業地利用集積特別対策事業費補助金があるが、事業内容を聞きたい。

答 産業振興課長 農地を来年作らない場合、その農地を借りる方に対して、10a当たり2万円の補助をする事業である。

観光施設の整備

問 議員 観光施設の整備の内容を聞きたい。

答 産業振興課長 緊急雇用の方が愛洲の里公園や、鵜倉の遊歩道の整備をしている。

弁護士委託料の 使い道

問 議員 弁護士委託料の内容を聞きたい。

答 総務課長 弁護士委託料の26万円は、不明金調査特別委員会の弁護士委託料である。

カーブミラー等の 設置

問 議員 交通事故防止器具設置工事の内容説明を聞きたい。

答 環境課長 カーブミラーは神津佐地区と迫間浦地区に設置する。注意喚起する物は、五ヶ所浦地区と切原地区に設置する。

簡易水道補正予算

変更認可に伴う 揚水試験費

問 議員 簡水の委託料と揚水試験費について聞きたい。

答 上下水道課長 一部ケーシング井戸がある為、変更認可に伴い揚水試験データを添付する義務がある。

簡易水道工事費 600万円

問 議員 簡易水道工事の内容を聞きたい。

答 上下水道課長 水源地と配水池の水位計の修理費である。



老朽化が進む水源地

教育委員の任命

住所 賛浦401番地
氏名 中谷 之俊氏が任命された。

地域活性化 特別委員会を設置

● 選任された委員の紹介
委員長 山本芳隆
副委員長 掛橋 靖
委員 東 伊久雄
岡本 眞
田中喜一郎
林 孝充

平成21年度 決算認定

平成22年9月15日第3回定例会に平成21年度決算認定12件が上程され、総括質疑された後、各常任委員会に付託された。

談

おこなわれました。

町政説明会の成果は

議長

町政説明会38地区全てを回られ、成果はいかがでしたでしょうか。

議長
町長に就任されて一年が過ぎましたが、ふり返ってどんな一年間でしたか。

町長

訪れてみて、初めて分かる地域の事、また、町の事も住民の方にわかってもらえる機会が持て、協力いただける事も出来、大変良かったと思っています。

町長
充実した一年であったと思っています。医療、介護の問題も色々取り組み、まけていただきましたし、町政説明会を開催し、住民の方々の意見をいただき、大変参考になりました。



上村久仁議長

議長

今後はどうされるお考えでしょうか。

町長

38地区全てを回る事は、かなりエネルギーを消費いたします。職員も本当によくやってくれました。今後、体力の続く限りやっていきたいと考えています。地域と役場との接点が出来ました。

町民の中へ出ていくのがこれからの行政にとって大切です、人の顔を見て聞く事も大切と考えています。

過疎地域自立支援法 過疎法延長される

議長

時限立法であります、過疎法が6年間延長されましたが、我が町にとってはいかがでしょうか。

町長

延長された過疎法は、ソフト面にも利用が出来る様になったので、ハード面と両面での活用をしたいと考えています。6年間の延長だけではダメで、その後どうするかを注視していく必要があります。

町民体育大会を終えて

議長

合併後、初の町民体育大会が開催されましたが、感想をお聞かせください。

町長

やって良かったです。教育委員会もですが、実行委員会が本当によくやってくれました。区長さん始め各地区にも多大な負担をかけ、協力していただき、たいへん盛り上げていただきました。今後はどこで、どの様に開催するかが課題ですが、是非、続けていきたいと思っています。



町民体育大会

議長

町体は交流の場、親睦の場もたくさんありますが、反省点もありました。競技内容やテントの張り方にも、旧町単位に固めず交互に張る、などの工夫が必要ですね。

町長

それはたいへんいい提案です。是非参考にいたします。

議長

綱引き競技においても少し工夫を加えてほしい。リレーは議会チームは負けたので、次回はリベンジしたいので、是非続けてください。



町長と議長の対談が

新年を迎えて

今後の抱負

議長

新年の抱負はどのような事を考えておられますか。

町長

当町は希望をもって進められる課題と、負の課題がありますが、希望をもって誇れるまちを作る為に尽力したい。

そして、一生懸命頑張る姿勢がヒシヒシと伝わってくる議員の皆様と共に、元気なまちづくりをしていきたいと思えます。

『まちを元気にする！』 地域活性化特別委員会

議長

『まちを元気にする！』地域活性化特別委員会を立ち上げましたが、町長の感想はいかがですか。

町長

すごい取り組みを始められたと注目しています。議会も私も目標は一緒です。お互い提案しあいながら、協力的な体制を作っていくと思っています。



小山 巧町長



地域活性化特別委員会のようす

議長

懇談会も昨夜で20グループが終り、あと10グループ程で終わります。全体での会合を持ちたいと考えていますので、その時は町長にも是非参加していただきたい。この懇談会で私たちが強く感じた事は、ほとんどの方が『自分たちのまちは自分たちで頑張らないと...』という考えをお持ちだということです。町長のお考えはいかがですか。



町長

これまでは行政主導、行政依存が続いてきたのですが、これからは地域が若い人たちを巻き込んで、自主的にやっていかないとダメだと思います。行政マンの意識改革をと考えていますが、議会が率先してやっていただきたいへんありますがたく感じています。



懇談会のようす

議長

各地区にある点と点を線で結んで、面にしていかねばと考えています。

また、行政と住民を結びつけるのが議会の役割と考えています。

絆はその上に信用と信頼が重なっている。私はこの絆を大切にしていきたいと考えています。

町長

まさにその通り、行政も頑張つて安全で安心して暮らせるまちにしていきたいと考えています。



町民体育大会

ここが聞きたい

一般質問

手塚 征男



町職員に 関わる問題

問

職員の給料格差、町外居住人数は。この件で職員との話し合いは。臨時職員の位置づけは。

答

町長 採用条件に町居住者としていないが、職員には町民の奉仕者ということ徹底していきたい。

答

総務課長 町外居住の職員は50人、対する町民税は約700万円。町外職員に付いての議論はしていない。給料格差は合併時に是正。臨時職員は採用時に条件を付して採用。又各課で緊急、事業増等へ対応し、採用している。

獣害対策

問

駆除の成果とその他の処理の確認、防除パトロールの実績とその費用は。実効あるシステムづくりの必要性は。

答

産業振興課長 平成21年度の駆除数はサルは南島・南勢でそれぞれ55頭・78頭、イノシシは129頭・216頭、シカは285頭・279頭。報償費465万円を支払。本年度8月末でサルは南島・南勢でそれぞれ10頭・29頭、イノシシは8頭・94頭、シカは56頭・120頭で報償費は未計上。処理は自己処理か埋設場に。確認は写真か尻尾の提出。防除パトロールは21年度は229名出動で521万円支払。22年度は5月迄で168名出動で383万円支払。今後の確認処理の方法は猟友会と検討中。

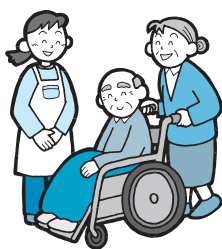
入所可能な 介護施設は

問

町内外で入所待ちの人数、療養病床入所者で介護施設移行が必要な人数、介護施設の数必要数は。

答

福祉課長 町内で施設別に柑洋苑110名、真砂寮90名、水脈の郷5名、有料老人ホーム南伊勢14名、グループホーム五ヶ所3名の入所希望がある（複数申込有り）。町外入所者は6月時点で介護医療施設3名、介護福祉施設26名、介護保健施設63名、介護付有料老人ホーム10名、認知症型共同生活介護10名。施設の必要数については23年度の計画見直し時に検討。



東 伊久雄



町長の財政対策 その危機感

問 我が町は県下で下から二番目の厳しい財政事情であるが、町長が一年前に財政改革に取組むと言ったが、財政対策、危機感を伺いたい。

答 **町長** 平成18年南伊勢町集中改革プランの行政改革アクションに基づき人件費削減、委託料の見直し、事務的経費の削減に取り組んでいる。21年度の決算見込による財政指標で財政力指数0・25、経常収支比率92・9で脆弱な財政状況。この厳しさを認識し危機感を持ち経費の削減、見直しを進めて行く。

医師不足、 医師確保 の方策は

問 現在の町立病院の医師の人数で空き部屋使用は可能か。他地域で報酬の問題が出ているが本町では。

答 **町長** 町立病院では常勤医師3名、非常勤医師が週半日単位で8名、日当直に三重大

病院等より10名の応援体制である。施設許可病床数は76床であるが現在の医師、看護師数では稼働可能病床は一般が26床、療養40床の計66床が基準の限度。医師給与は本町では問題は出ていない。医師の確保に院長、三重大、山田日赤等へをお願いを重ねている。公募も実施し、今後さらに範囲を広げ常勤医師の確保に努力する。



町立病院

掛橋 靖



行財政改革の進捗 及び成果は

問 18年度からの行財政改革アクションプランの成果、進捗状況、問題点は。職員への浸透度は。

答 **町長** 町民目線からの町政刷新委員会の設置、町政説明会の実施をしたが未だ評価の段階でない。アクションプランの取組の評価は受け手の住民の評価が基準である。改革に職員の理解は十分あるが、さらに質的な改革に向けて進んで行きたい。

町営バスの現状 及び今後は

問 町民の要望の把握、コストと費用対効果、停留所及びバスの大さき、デマンド交通システムの導入は。

答 **環境課長** 町民の要望は増便、バス停が遠い、乗降しにくい等の意見。費用対効果では三重交通への委託料1億1,075万円で多い時で利用者一人当たり2,075円、少ない時で1,590円。バス停の見直しは道路運送法を踏まえ費用、利用者数を考えながら進める。

漁業の振興 及び継承

問 漁業への現状認識は。市場の存続も出来ない現状を踏まえ、町基幹産業の将来のための支援策、外濤漁協との今後の取組は。観光事業との協調は。

答 **町長** 漁業環境の認識は私も同感。漁業者と一体で早く思い切った政策を検討、実行していくことが重要である。当面、従前の漁業者に助成、支援等を継続して実施していく。

産業振興課長

答 くまの灘支所が観光事業の取組で催しを11月7日に予定している。町としても漁業関係に入ってもらい、市場を利用し、12月にツアーを呼び込み、ないか検討している。



神前市場

松葉和久



海洋牧場について

問 平成8年度からの稚魚放流の各年度の成果は。自動給餌ブイの餌の補充の周期は。自動給餌ブイの耐用年数、そのメンテナンス料はどこが払っているのか。全国で海洋牧場を止めたところは。

答 **町長** 平成8年度からの本格運用で実施前の五ヶ所湾の漁獲量は9t、最近13年間の平均は12t。放流成果があると思う。が一面、種苗放流もあるので海洋牧場の効果だけでは断定できないがタイ12万尾のタグ調査でかなりの漁獲を確認している。餌の補充は月に1回。耐用年数は15年。年間のメンテナンス料は10万7520円で主に五ヶ所湾海洋牧場管理運営協議会が支払っている。全国で止めた事例は福井県美浜沖の丹生湾の一例がある。



海洋牧場

西 則孝



高齢者福祉について

問 介護について基本的な考えは。
答 **町長** 高齢者保健福祉計画では住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを基本に①全ての高齢者が地域の中で安心して暮らせる町づくり、②生き甲斐づくり、③介護予防対策、④持続可能な介護保険、高齢者福祉の仕組作りの再構築、⑤効果的効率的な役割分担の再構築などを基本目標にしている。

問 5年、10年先の65才以上の人口推移は。
答 **町長** 人口問題研究所による本町の将来人口推計では5年先が6,310人、10年先が5,865人と推計されている。

問 人口推移から、今後も現状のサービスが続けられると思うか。
答 **町長** 施設整備の充実が将来、住民の経済的負担に繋がっていくことも考える必要がある。今後、在宅介護が可能な方を増やすことを町の取る道と考える。又、介護予防をより真剣に考え将来の財政負担軽減に繋げるのに町民の健康をと思う。

観光について

問 本町の観光交流室の作業内容は。

答 **産業振興課長** 国立公園及び自然公園法、伊勢志摩国立公園協会、自然ふれあい推進協議会や近畿自然歩道に関する事務及び事業の対応をしている。又、広域連携事業伊勢志摩コンベンション機構事業、特に伊勢志摩学生団体誘致委員会誘客企画連携事業の遂行、町内観光トイレの維持管理及び修繕対応、さらに太鼓3団体、おかみの会との連絡調整、南伊勢町観光協会との連携事業の遂行等を行っている。



牛鬼太鼓

岡本 眞



子どもたちの命を守りたい

問

子宮頸ガンは乳ガンを抜き発症率の高いガンである。高額ではあるが予防ワクチンの接種で、子どもたちの命が守られる。公費助成を

答

町長 近隣市町での公費助成を実施しているところが増えているので、当町としてもその動向を踏まえて考えていきたい。



子ども議会に学ぶ

問

第2回子ども議会が開催されたが、子どもからの質問で関心を持った内容は。

答

町長 子どもたちの目線で将来の町づくりに関するいろいろな質問を頂いたが、子どもらしい公園や遊ぶ場所をつくって欲しいという要望が多くあり、子どもたちが育つ環境を整えてあげたいと感じた。



子ども議会

元気あふれる町づくり

問

本年度は新しい総合計画を策定する年だが、元気あふれる町づくりをするためにはどのような方法で進めるのか。

答

町長 希望と誇りを持てる魅力ある町づくりを住民とともにつくっていくことを理念に、現在、職員によるワーキンググループを立ち上げ、住民との協働による策定作業を進めている。



地域住民との話し合い

林 孝充



地域住民の生活道路を守れ

問

防災対策として、五ヶ所浦・中津浜浦間、五ヶ所浦・飯満間の堤防を整備する計画があるかを聞きたい。

答

町長 県道中津浜浦・五ヶ所浦線は県の新道路整備戦略で改良計画中であるが、人家への被害が想定されてなく堤防の計画はない。町道飯満本線については、県と堤防の必要性について検討する。



未改良地域の飯満線

集客を見込める観光事業

問

5月の大型連休期間中に集客を見込める潮干狩りを再開しては。

答

産業振興課長 昨年、今年も開催する予定であったが、潮時等の不具合から未開催となった。現在、来年度は開催する方向で検討中である。開催が決定すれば協力させて頂く。



盛況だった潮干狩りのようす

山本芳隆



出張所の職員体制は

問 宿田曾出張所の職員の退職に伴う今後の職員体制と運用は。

答 **総務課長** 去年10月中旬に臨時職員が1名退職することに伴い、他の3ヶ所の出張所と同様に、常時1名体制で、昼食休憩時間の1時間は出張所を閉める形での運用となる。



宿田曾出張所



真珠いかだ

真珠養殖を 守れ

問 かつては当町の基幹産業であった真珠養殖は、衰退の一途をたどっており、行政の力を必要としている。漁業対策は。

答 **町長** 真珠業界の低迷は当町だけでなく、全国的な問題。効果的な対策もないが、共済制度への加入や、国・県の協力を得て海域環境の保全に取り組む必要があると考えている。

必要に迫られる 在宅介護

問 老人介護において、施設介護への機運が主流になりつつあるが、諸々の実情からやはり在宅介護が必要と考える。在宅介護は。

答 **町長** 介護サービスは施設でのサービスだけでなく、多様の居宅サービスの充実を図り、地域包括支援センターが中心となり、総合的に受けられる様に努めていく。



介護施設にて

畑 芳弘



悲願の 大川側道拡幅

問 相賀浦の大川側道は緊急車両が通れずに、地域区民は危惧している。側道拡幅工事の計画はあるのか。

答 **町長** 平成23年の漁業集落環境整備事業の見直し作業において、この拡幅工事が可能かどうかを県と協議、検討する。



相賀大川

武道を通じて 子どもの育成を

問 近年、忍耐力の弱い子ども、運動をしない子どもが目立つ。当町を担う肉体的、精神的に強い人間の育成を目的に、武道奨励が必要と考えるが。

答 **教育長** 当町では武道の奨励は進んでいると考えている。また再来年度から中学校の体育授業で武道が必修となり、一層子どもたちの武道に対する関心が深まると期待している。



盛況だった真鯛出荷のようす

漁師を救え！

問 低迷する漁業の打開策として、町長は現場に入り、漁師と一緒に考えるとの方針を示したが、その後の現状認識と施策について。

答 **町長** 各地区で町政説明会を行ない、現状の厳しさを痛感した。早期に漁業者や漁協の方々と話し合いの機会を持ちたいと考えている。



愛洲の館

上村 康廣



過疎化を防げ

問 当町の人口減少が続いているが、その要因と対策は。

答 **町長** 若い人達の仕事の場も少なく、子どもの教育のために家族での引っ越し等が多いので、若者定住対策、一次産業の振興、工場事業所の誘致等に努力していく。



元気な子どもたち

行政としての裏金問題調査は



問 新年度以降の裏金問題調査対応は。

答 **町長** 6月に設置された議会行政調査特別委員会による証人尋問を傍聴し、その内容を参考にしながら、町で進めている内部及び外部調査、前の議会行政調査特別委員会の報告をも踏まえて、総合的に判断し、早い時期に解決策を導き出す。

田中喜一郎



小規模事業者対策

問 本町においてほとんどが小規模事業所であり、今後の小規模事業者対策は。

答 **町長** 地域の経済健全化は大変重要な課題であり、今後より一層、商工会と十分な連携を図りながら効果的な小規模事業者対策を検討し、実施していきたい。

医療・介護の将来ビジョン

問 将来的な医療介護の一元化を考えたとき、町立病院においても療養病床の増加を計画していくべきでは。

答 **町長** 医療介護の一元化を考える中で療養病床の増加について十分検討していく必要があると考える。

稼働療養病床の増加に向け医師、看護師等の確保の努力をしていく。



医療介護のようす

若者の緊急雇用は

問 若い世代の緊急雇用は。

答 **産業振興課長** 緊急雇用再生特別基金事業を21年度より導入し実施している。21年度は6事業21名を雇用し、20代は6名の若者で、本年度は14事業を予定し、現在まで9事業が実施され35名を雇用し、20代が7名の若者となっている。



緊急雇用

岡田和夫



町政刷新

問

町政のどこが問題だと考え、どのようにこの町を刷新しているのか、町政刷新に対する考えは。

答

町長 従来の行政主導、行政依存から脱却し、町民が主役となる町政運営を目指していくための体制づくり、町民と行政の共通認識、協働をつくり上げていくことを町政刷新の目的と考えている。

問

医療を考えるプロジェクトチームの検討状況は。

答

町長 チーム設立のための準備会を立ち上げ、町立病院、南島メデイカルセンター、行政職員がチームのあり方と方向性について検討を重ねていたが医療介護の専門領域でもあり、病院と行政の方でビジョンをつくり始めている。その後住民の意見をお聞きしたいと考えている。

医療プロジェクトチームは

問

アスベストの危険性がこの工法で全く大丈夫だと判断したからなのか、それとも、工事費が約1,200万円余分にかかるためなのか、どちらが主な理由か。

答

教育長 工事費用は関係ない。子どもたちの安全を第一に考え成分を分析調査し、結果を受け工事の専門家を交え専門的な知識を持って慎重に検討し、安全な工法と判断した。保護者の方々に改修工事について説明を行ない、理解して頂いた。

改修の安全性は



五ヶ所小学校体育館

山本周也



医療助成を

問

身体障がい者4級の方への医療費助成と障がい者医療助成制度において、入院時食事療養費への助成を実施してはどうか。

答

町長 県の助成の対象外ですべて町単独となり、財政的に大変厳しい状況でもあり、県の助成制度改革検討会で県の助成対象の拡大について検討していただけのように要望していく。入院時食事療養費についても同様に検討課題として要望していく。本町においても検討課題だと考える。

問

地域づくり支援事業の予算の執行状況、今後の予定、展望について。

答

町長 職員の各グループは各地区と連絡を取っており、いくつかのグループは活動を始めている。事業に取り組み始めた段階で予算の執行までには至っていない。ここへ住んで良かった、住み続けたいと思える地域づくりを各地区、できることから取り組んでもらえればと考える。

地域支援事業の状況

問

住民説明会の報告を求める。

答

町長 主に本町の財政の状況説明をし、町民の方々からは鳥獣害、医療、道路、高齢化、不明金など様々な意見をいただき、財源などの問題もあるが、今後、検討していく。報告書、町民への広報は予定していない。次回は別のテーマで開催を考えている。

町政説明会の報告を



町政説明会

中山 盛



区制度の見直し

問

本町には大小38の区が点在しており、

行政運営を効率的に行なうため、旧南勢・南島を一つのブロックとした特別区を設置してはどうか

答

町長 行政効率の観点からはある程度

の規模の区でいいかと思うが、生活を支える人の絆、地域の絆という面からは現状の区の範囲も又、大切なものだと思う。

医療体制の現状

問

南島メディカルセンターの医療体制は診療所に変わり後退している」と現状認識をしているか。

答

町長 現状は、15床の診療所規模と

なっている。町の病院、医療機関だという認識で大切に活用いただきたい。



南島メディカルセンター

計画の見直しは？

問

計画の平屋建てが2階・3階の建物であれば、拡大の余地が広がり、敷地が有効に使えるが、このことも含め計画の見直しはどうか。

答

町長 将来、何十床の一般病床が必要になるか未知数で、現在の医療ニーズ、入院を

される人数を見て今、考えているところまで増床できればいいと思っている。当面はこの計画で進めていく。

澤村 圭也



備えあればうれいなし

問

防災対策についての考えは。

答

町長 被害が出ることを想定し、最

小限に抑える減災という考え方に軸足を移し、自助・共助・公助による減災対策に取り組み、推進することとしている。



ソーラー照明

街灯の整備の状況は

問

避難路の街灯が暗いと苦情が多いが整備状況は。

答

総務課長 避難所の防災照明整備事業により、現在までに4つの避難所での避難路に11基のソーラーバッテリー電源の照明設備を整備し、今年度は2つの避難所を整備していく予定である。

本町融和の中で

問

本町の融和の中で交流事業やイベントを2回ぐらい開催してはどうか。

答

産業振興課長 本年度、町民体育大会を南勢地区で実施することになっている。又、

商工祭が南島地区で開催される予定である。来年度以降については、関係される方々と十分相談していく必要があると考えている。



イベントのようす

議員行政視察

レポート

平成22年10月5～8日の間、議員は2班に分れて、視察研修を行ないました。



北海道南地域の木古内町、せたな町、寿都町の三町を訪問し、病院経営と町営老建施設、磯やけ対策、洋上風力発電についてそれぞれの取り組みを学びました。

病院経営

木古内町

人口5,300人余りで、栄光と悲運のあの咸臨丸が沖合いに眠っています。高齢化率は38.8%と道内では高い方で、

北の大地の福祉都市を目指す町です。北海道新幹線の道内最初の駅が出来る予定で、国民健康保険病院、老人保健施設と公営住宅が合体した建物が併設され、いずれも町営で運営されています。

- 患者が医師や病院を選ぶ時代になってきた。
- 国の特別交付税の7割を病院に投入している。
- 医師の確保と看護師等のマンパワー（人材）の確保が課題である。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が出来る事を目指している。

- 老健施設は当初公設民営で検討していたが、民間側の受け入れがなかった為、公営となった。
- 医師不足の対策は全国版の募集広告を出しているが応募はなし。特効薬はなし。
- 医師確保には院長の人もある。
- 首長の姿勢に対する医師の対応もある。
- 首長は月一回くらいは院長や医局の人たちとのコミュニケーションを図る必要がある。
- 公営による運営は、給与体系に課題が残る。

洋上風力発電

せたな町

人口9,800人余りで、平成17年3町が合併し、総合支所方式を採用5年で一本化を予定しています。日本初の洋上風力発電「風海鳥」が2基あります。

- 風海鳥は一基600kwの発電能力がある。
- これまでは売電による収入で経費をまかなってきたが、あと数年で一般会計からの持ち出しが必要となる。
- 建設費は陸上の倍かかる。
- 今後もクリーンエネルギーの確保は必要であるが、国の援助が必要不可欠である。
- 今後は毎年一千万円くらいの赤字になりそう。



- デンマーク製であるが今は国産で良いものがある。
- 将来的には洋上発電はやるべきでない。
- 風海鳥の付近では、ホタテ貝の養殖がされ、日本一高く取り引きされている。

磯焼け対策

寿都町

人口3,500人余り、豊かな海づくりの為、磯焼け対策に力を入れています。

- 北海道は今、農業も漁業も大変であるが、ビジネスに結びつける産業が何であるかは、寿都町も南伊勢町も同じなので、共に研究し合いたい。
- 昔の海は元気があったが、30年くらい前から元気がなくなった。
- 森は恋人、山からの栄養が海へ流れる。

寿都町長の談

私は風車づくりに命をかけている。風車はメーカー選びが成功の秘訣であり、当町はドイツ製を採用している。当町は大変風のきつい町であるがこの風を味方につけている。

- 魚貝類にとって藻類はきわめて大切なものである。
- 放流をしても、受け皿（エサ）をしつかり確保しなければダメである。
- どうしてこんな環境になったのか、漁業者も責任の一端があると思う。
- 自然環境を元にもどす為、皆がやれる事をやる。
- 今日の国のシステムを現場サイドの考え方にあらためないとダメになる。
- 町長も漁師さんたちと一緒に頑張って汗を流している。

まとめ

北の大地は人々の心も大きかった。訪れた3町では、いずれも歓迎を受け、「もてなしの心」を北の地で教わりました。厳しい環境の中で、苦しきつらさに負けず頑張っている姿には、見習うべき事が沢山あり、町長も職員も議会も活気がありました。地場産品に自信と誇りをもっている事は、私たちが最も見習う点です。共に学び共に体験をし、共に感動をすれば、道は早く開けるにちがいありません。今後は町長や若年職員の同行を期待します。



10月5日～7日まで、

議員5人と福祉課長、病院事務長、議会職員の8人で、宮城県涌谷町、岩手県藤沢町、岩手県西和賀町の3町を視察しました。3町の視察目的は、南伊勢町がこれから目指さなくてはならない、保健・医療・介護を統一した「地域包括医療」の実践状況と財政状況を調査することでした。

地域包括医療

涌谷町

涌谷町は、人口17、800人の農業中心の町です。

涌谷町では、昭和59年12月に、町民、議会の理解と支持のもと、「保健・医療・福祉」を一体的に提供する「包括医療」の拠点施設として涌谷町町民医療福祉センターを建設しました。

そして、昭和63年11月に建設した、町立「涌谷

町国民健康保険病院」を中心に、老人保健施設、訪問介護ステーション、健康福祉課、健康管理センターなどを一ヶ所に集めるとともに、社会福祉

協議会が管理委託している特別養護老人ホームとも連携しながら、町営の医療福祉センターとして運営しています。

これらを一体運営する中で、町民の健康管理、病気治療、高齢者介護など、子どもからお年寄りまでの「安心の町づくり」を実践しています。

財政面では、病院事業と老健施設の総収支は、21年度は施設の減価償却費と同程度の赤字の範囲となっています。

センター長が言われるのは、町内での保健・医療・介護で果している役割と、医療福祉センターで総勢366人の雇用が生まれていることなどを見ると、わずかな赤字よりも住民の利益のほうがはるかに大きいとのことでした。

地域包括医療

藤沢町

藤沢町は、宮城県との県境の山間地にある農業主体の町で、人口は9、200人の町です。

高齢化率は、現在33.8%となっています。

藤沢町は、平成5年7月に建設した、「藤沢町民病院」を核にして、老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホーム、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の7つの事業を統合し、病院事業として地方公営



企業法の全部適用を行い、「藤沢医療福祉センター」として運営しています。

財政的には、21年度の病院・介護事業の総収支は、1億2493万円の黒字となっています。

藤沢町では、医療と保健・介護を統一することは、財政的にもっとも効果的、経済的な運営ができる体制だと言っていました。

また、「地域包括医療」を行うことで、大学病院からの実習の受け入れなどにより、医師不足の中でも医師の確保が恒常的に行えているとのことでした。



少子・高齢化対策

西和賀町

三日目に訪問した西和賀町は、秋田県との県境にある、日本有数の豪雪の町です。平成17年の合併前の沢内村にある、深沢資料館を訪問しました。映画「いのちの山河」の舞台となった村です。

資料館で、豪雪、多病、貧困の3重苦を村民とともに克服していった、故深沢晟雄村長の業績を見学しました。

沢内村は、医療と保健を統合し、「地域包括医療」のさががけとなった村で、涌谷町、藤沢町などに影響を与えた村です。また、村長の「生命尊重こそ政治の基本」という政治哲学や、厚生省の圧力にも屈せず、日本初の高齢者・乳幼児医療費無料化を成し遂げたことなど、今後の行政に参考となりました。

地域活性化 特別委員会



昭和50年代の南伊勢町の各地区の入江は、真珠筏、養殖筏で埋め尽くされ、山々ではみかんがたわわに実っていた。地場産業に活気があり、人々の心も豊かで、各地区での祭り事も盛大に催され、若者も定住していた。半世紀が経った今、地場産業は疲弊し、若者は都会へ流出、少子化に拍車がかかり人口は減少の一途。経済的にも町民の心に余裕が生まれず、祭り等の活動も縮小、廃止に追い

込まれています。この様な現状に、このままでは私たちのまちは、本当にダメになってしまうと危惧しています。

今、何とか皆で力を合せてふるさどが再び元気を取りもどす為に、自分たちも立ちあがろうと、議員自らによる地域活性化特別委員会が9月定例会において設立されました。

活動の方向性を探っている内、幸いにもこの町には自主的に地域の活性化に取り組んでいるグループや団体が沢山あり、まずはその方々と、活動方針、事業内容、課題、夢等について語っていただく懇談会を開催してまいりました。長年にわたりボランティア精神で頑張ってきた方々のお話は感動の連続でありました。そんな中、私たち委員会の進むべき道もおぼろげながら見えてまいりました。ふるさとへの思いから自主的に頑張っているこの人たちを点と

するならば、点と点を線に面にしていく、そして大きなうねりとなって、南伊勢を再び元気のあるまちにしていきたいと頑張っております。どうか住民の皆様のご指導やご協力をいただきます様、よろしくお願い申し上げます。



● 次の①～⑩の中で正しいのはいくつでしょう ●

- ① 平成22年10月末の南伊勢町の人口は15,977人である。
- ② 南伊勢町の面積の約85%は森林で内、約60%が自然林である。
- ③ 河村瑞賢は江戸時代に大阪が商業の町として発展する基盤をつくった人で東宮の生まれである。
- ④ 愛洲移香齋久忠は、五ヶ所生まれで剣の源流といわれる愛洲影流をあみだした。
- ⑤ 鵜倉半島かさざぎ展望台から見えるハート型の池はかさざぎ池である。

クイズ
みなみいせ

- ⑥ 浮島パークにある池に浮く島は以前はひょっこりひょうたん島のように池内を動いた。
- ⑦ 伊勢路川下流の内瀬地区にはハマボウの大群生地がある。
- ⑧ 相賀浦の大池^{おいけ}は全国的にも珍しい私有海面である。
- ⑨ 南伊勢町の消防は志摩広域組合と紀勢広域組合である。
- ⑩ 南伊勢町の介護保険の調査・審査・判定は度会広域連合が行なっている。

応募方法

はがきに「答(個数)・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入して 〈あて先〉 〒516-0194 南伊勢町内議会事務局宛 ください。議会への意見等もありましたらお書きください。 正解者多数の場合は抽選で5名の方に図書券をお送りします。 〈しめ切〉 平成23年1月末日

※ご記入いただきました個人情報は他の目的には利用いたしません。

議会広報特別委員会

委員長	松葉 和久
副委員長	掛橋 靖
委員	岡本 眞
委員	林 孝充
委員	芳弘

議長 上村 久仁

議会だよりについて
のお問い合わせ等は、議会事務局までご連絡ください。
0599-661781

議会と地域の距離をもっと近づける為に、読みやすくわかりやすい議会だよりをつくらねばと考え、少しですが工夫をこらしました。ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

あけましておめでとうございます。
酷暑とまでいわれた暑い夏が過ぎ、町民の皆様におかれましては健康にお過ごしのことと存じます。

編集後記

